

安全性データシート

改訂: 2024年2月29日

前作成日: 2023年3月29日

SDS番号: 283B-16

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

787 スライディング・ペースト (バルク)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 高温、極圧対応の高粘性、固形潤滑ペースト。酸素システムには使用しないでください。

使用上の制限: 情報なし

使用が奨励されない理由: 適応せず

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制 1272/2008 [CLP]による分類

皮膚の炎症、区分 2, H315

重篤な目の損傷、区分 1, H318

2.1.2. 追加情報

H (危険) ステートメントの全文: セクション 2.2 および 16 を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制 1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H315 皮膚刺激。
H318 重篤な眼の損傷。

使用上の注意:	P264	使用後、顔、手、接触した皮膚を充分洗浄してください。
	P280	保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
	P332/313	皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P305/351/338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P310	ただちに医師に連絡すること。
補足情報:	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。
	EUH208	ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩およびスルホン酸、石油、カルシウム塩を含みます。アレルギー反応を起こすことがあります。

2.3. その他の危険性

工業的用途ではなし。グラファイト、タルク、二硫化モリブデンは混合物から分離したり空気中で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	C A S 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	G H S 分類	特定の濃度制限、M ファクター、ATE
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	1 - 5	39464-69-2 ポリマー	入手不可	眼に対する重篤な損傷性 1, H318 皮膚刺激性 2, H315	ATE (経口): 42,300 mg/kg
ハイドロカーボンワックス (石油)、酸化、Me エステル	1 - 5	68602-85-7	入手不可	眼刺激性 2A, H319	ATE (経口): > 2,000 mg/kg
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	0.1 - 0.5	68584-23-6	入手不可	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l
メタノール	0.1 - 0.4	67-56-1	2-201	引火性液体 2, H225 急性毒性 3, H331, H311, H301 眼刺激性 2A, H319 STOT 単回暴露 1, H370	STOT SE 1; H370: C ≥ 10 % STOT SE 2; H371: 3 % ≤ C < 10 % ATE (経口): 100 mg/kg ATE (経皮): 300 mg/kg ATE (吸入、蒸気): 3 mg/l
スルホン酸、石油、カルシウム塩	0.1 - 0.3	61789-86-4	入手不可	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l

その他の成分: 入手不可

グラファイト	20 - 30	7782-42-5	入手不可	分類されていません *	ATE (経口): > 2,000 mg/kg
タルク	10 - 15	14807-96-6	1-481	分類されていません *	入手不可
二硫化モリブデン	1 - 5	1317-33-5 215-263-9		分類されていません *	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 16,000 mg/kg

*職場での暴露限界のある物質。

H (危険) ステートメントの全文：セクション 2.2 および 16 を参照。

分類基準：* 労働安全衛生法

* 毒物および劇物取締法

* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入： 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

皮膚への付着： 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

目に入った場合： 大量の水で目を最低 15 分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合： 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

応急手当を行う人の保護： 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション 888.2.2 参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

目に入ると激しい刺激を与えることがあり、火傷、皮膚の炎症を起こす可能性もあります。高濃縮蒸気は目と呼吸器系の炎症、時にはめまいや吐き気を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡、水霧

不適切消火剤： 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 炭素、硫黄、窒素、カルシウム、リンの酸化物、三酸化モリブデン。

その他の危険性： 消火活動による流出液を排水口や水路に流さないでください。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション 8 で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。注意 - こぼれた後床が滑りやすくなっているかもしれません。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション 13 を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション 8 で指定された露出制御と人体保護を利用してください。取扱い後は手をよく洗ってください。作業区域で飲食、喫煙をしないでください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。使用時以外は容器の蓋を閉めてください。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置**8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	N/A	N/A	N/A	N/A
ハイドロカーボンワックス（石油）、酸化、Me エステル	N/A	N/A	N/A	N/A
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
メタノール	200	260	200（皮膚） STEL: 250	262 328
スルホン酸、石油、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
グラファイト	N/A	0.5（吸引可能） 2（総塵）	（吸引可能）	2
タルク	（吸引可能） （総塵）	0.5 2	（吸引可能）	2
二硫化モリブデン	（吸引可能） （総塵）	2 8	（吸引可能） （吸引可能）	10 3

生物学的限界値

メタノール:

制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	源泉	注
メタノール	尿	作業終了時	20 mg/l	日本産業衛生学会	-

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください。（例：欧州規格フィルタータイプ A-P2）。

手袋： 耐薬品性手袋（例：天然ゴム、ニトリルゴム、ネオプレン、あるいはPVC（ポリ塩化ビニル））

目 / 顔の保護： 安全ゴーグル。

その他： なし

8.2.3. 環境暴露措置

セクション 6 と 12 を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質**9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	ペースト	pH	適応せず
色	ダークグレー	動粘	240k-480k cSt @ 25° C
臭気	かすかな臭気	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数：n-オクタノール/ 水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	未定	20°C での蒸気圧	未定
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1.25 kg/l
揮発率%（容量比）	< 0.5%	蒸気密度（空気=1）	> 1
引火性	未定	蒸発率（エーテル=1）	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆 発限界	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
引火点	145° C	爆発性	未定
方法	ニッケル	酸化性	未定
自己発火温度	402° C	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

動的粘度: 300k-600k cPs @ 25° C

セクション 10： 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション 10.3 と 10.5 を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

温度 200° C 以上

10.5. 配合禁忌薬品

強酸 / 強塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。過酸化水素、硝酸カリウム。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口： ATE-混合物: 30,303 mg/kg

物質	テスト	結果
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	LD50、ラット	42,300 mg/kg
ハイドロカーボンワックス (石油)、酸化、Me エステル	LD50、ラット	> 2,000 mg/kg
グラファイト	LD50、ラット	> 2,000 mg/kg
二硫化モリブデン	LD50、ラット	> 5,000 mg/kg
メタノール	LD50、ラット	5,628 mg/kg
メタノール	人体致死量	143 mg/kg

経皮： ATE-混合物: 90,909 mg/kg

物質	テスト	結果
二硫化モリブデン	LD50、ラット	> 16,000 mg/kg
メタノール	最小致死量、猿	393 mg/kg

吸入： 高濃縮蒸気は目と呼吸器系の炎症、時にはめまいや吐き気を起こすことがあります。
ATE-混合物、吸入限度: 909.1 mg/l

物質	テスト	結果
グラファイト	LC50 ラット、4 時間	> 2 mg/l (粉塵)
メタノール	最小致死濃度、猿	1.3 mg/l
メタノール	LC50、マウス、134 分	79.43 mg/l

皮膚腐食性/刺激性： 接触すると皮膚に炎症を起こす可能性があります。

物質	テスト	結果
グラファイト	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	皮膚の炎症、うさぎ	刺激性
二硫化モリブデン	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし
メタノール	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし

眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性： 目に入ると激しい炎症、時には火傷を起こします。

物質	テスト	結果
グラファイト	目の炎症、うさぎ	炎症なし
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	目の炎症、うさぎ	激しい刺激
メタノール	目の炎症、うさぎ	炎症なし

呼吸器または皮膚の感作：

物質	テスト	結果
グラファイト	皮膚の感作、(OECD 429) マウス	過敏性なし
二硫化モリブデン	皮膚の感作、(OECD 406)	過敏性なし
メタノール	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし

胚細胞突然変異原性：

グラファイト、二硫化モリブデン、ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩、メタノール：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
タルク	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	小核試験、マウス、経口	陰性
スルホン酸、石油、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性 (類似物質)
スルホン酸、石油、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性 (類似物質)

がん原性：

本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。

生殖毒性：

グラファイト：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。メタノール：不確定なデータ。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	415, ラット、雄/雌、経口、28 日	NOAEL \geq 500 mg/kg (類似物質)

STOT - 単回暴露：

有害を起こさないとされています。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 反復暴露：

長期間にわたるグラファイトの大量吸引は気腫や塵肺を起こしています。タルクの粉塵を長時間あるいは繰り返し吸引すると、慢性の咳、息切れ、肺の損傷 (肺線維症)、軽い塵肺の症状を起こすことがあります。グラファイト、タルクは混合物から分離したり空気で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。グラファイト、ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩、メタノール：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	28 日間経口垂慢性調査 (OECD 407) ラット、雄/雌	NOAEL: 500 mg/kg (類似物質)

吸引性呼吸器有害性：

入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

11.2. その他の情報

既知の影響なし

セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

本製品は水生生物、土壌生物に対して低度の有害性を与えるとされています。グラファイト: 96 時間 LC50 (対魚) > 100 mg/l. タルク: 24 時間 LC50 (対魚) > 100 g/l.

12.2. 持続性・分解性

グラファイト、タルク、二硫化モリブデン: 無機物質。メタノール: 易生分解性。オイル: 容易に生分解しません。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導體、カルシウム塩: 容易に生分解しません。(類推)。スルホン酸、石油、カルシウム塩: 容易に生分解しません。(8.6%)。

12.3. 生物蓄積の可能性

グラファイト、二硫化モリブデン、メタノール: 生体内蓄積しません。

12.4. 土壌中の移動性

ペースト。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください（セクション9参照）。

12.5. PBT・vPvB 評価の結果

入手不可

12.6. 内分泌かく乱特性

既知の影響なし

12.7. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13： 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品は EC 理事会指令 2008/98/EC で危険廃棄物に指定されています。

セクション 14： 輸送上の注意**14.1. UN 番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN 固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78 附則 II による貨物輸送および IBC コード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (化管法)

クラス I 薬品: モリブデン及びその化合物

消防法

危険物 第 4 類第 3 石油類

労働安全衛生法 (安衛法)

危険物 (分類: 引火性の物): メタノール

第二種有機溶剤等: メタノール

作業環境評価基準で定める管理濃度: メタノール、200 ppm

毒物及び劇物取締法

劇物: メタノール

大気汚染防止法

揮発性有機化合物 (VOC): メタノール

特定物質: メタノール

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質: モリブデン及びその化合物

セクション 16: その他の情報

略語一覧:

- ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
- ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
- ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
- ATE: 急性毒性推定値
- BCF: 生物濃縮係数
- cATpE: 変換後の急性毒性推定値
- CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規 (1272/2008/EC)
- GHS: 世界調和システム
- ICAO: 国際民間航空機関
- IMDG: 国際海上危険物規定
- LC50: 試験動物の 50% を死亡させる致死濃度
- LD50: 試験動物の 50% を死亡させる投与量
- LOEL: 最小作用量
- NOEC: 最大無作用濃度
- NOEL: 最大無作用量
- N/A: 該当せず
- PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
- PEL: 許容暴露限度
- REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制 (1907/2006/EC)
- RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
- SDS: 安全性データシート
- STEL: 短時間暴露許容濃度
- STOT: 特定標的臓器毒性
- TLV: 暴露限界
- vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質

その他の略語は www.wikipedia.org で調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典:

- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
- 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
- スウェーデン化学物質庁 (KEMI)
- 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
- 化学分類および情報データベース (CCID)

GHS による混合物の分類方法:

分類	分類手順
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法

関連する H(危険)-ステートメント:

- H225: 引火性の高い液体および蒸気。
- H301: 飲み込むと有毒。
- H311: 皮膚に接触すると有毒。
- H315: 皮膚刺激。
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H318: 重篤な眼の損傷。
- H319: 強い眼刺激。
- H331: 吸入すると有毒。
- H370: 臓器の障害。

その他の情報: なし

本改訂による SDS の変更: 新配合を示すために変更を全て記入してください。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。